

ゆうゆう通信

令和元年12月10日発行 第32号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会

〒395-8503 飯田市上郷黒田341

電話 53-6048 FAX 53-6047

夜間防災訓練が実施されました

ゆうゆうでは消防法に基づいて消防訓練2回目を10月4日に飯田消防署、下黒田南まちづくり委員会のご協力をいただき実施しました。今回の訓練の目的は、夜間時間帯に火災が発生した場合を想定し、適切かつ迅速な対応により、利用者様の安全確保と施設の被害軽減を図ると共に、近隣住民と協働して訓練を実施する事で、災害時における地域との協力関係を構築し、防火意識の向上を図ることを目的としております。



当日は地域の皆様10名、職員57名の参加がありました。火災発生の非常ベルで訓練を開始し、消防署へ通報、初期消火、避難開始、職員の召集、本部・救護所の設置、2年前から導入した、役割分担を具体化したアクションカード(行動指標カード)での避難誘導を行いました。今回はそれぞれの担当分野で今後検討の必要な事もありましたが、予定時間内にスムーズに行う事ができました。今年台風15号、19号、その後の大雨など、各地で度重なる甚大な被害が起こりました。報道で浸水した施設の避難や被災状況を知り、様々な災害を想定しての定期的な訓練の必要性を再認識しました。また、夜間災害時には職員5人の勤務体制のため利用者様10名の安全確保には人手が不足するため、地域の皆様のご協力が何よりの力になります。今後とも宜しくお願い致します。

今年もRUN伴に参加しました!!

9月28日(土) RUN伴+Nanshinが開催されました。松川、高森地区でそれぞれ行われ、飯田地区は旧・飯田産業センターを会場に13時に出発しました。参加者もスタッフもお揃いのオレンジTシャツを着て、一体感に包まれた中、ゆうゆうは東新町並木ポケットパークから飯田駅まで間を走りました。一時小雨が降り出し天気心配されましたが、皆の熱気が伝わったのか、なんとか雨は降らずに最後までもちました。私は昨年引き続き2回目の参加でしたが、1年に1回のこのイベントは認知症の方を地域で支えていかなければいけないだと改めて考えさせられる機会でした。同じ思いで参加している方がこんなにいると心強いです。ぜひ、来年は一緒に参加してみませんか。



各フロアで敬老会・運動会が催されました

祝 デイケア・敬老会

9月9日～12日までの4日間通所リハビリの敬老会を開催しました。デイケアをご利用で最高齢の方は102歳の女性です。敬老会では、その日の最高齢の方にご利用者様代表で挨拶をして頂きました。皆さん立派な挨拶でとても驚き感心し、これまでの経験の多さやご活躍を感じる場面となりました。その後はボランテイアの方による「二胡の演奏」「民謡・三味線」「プロの歌手による歌謡ショー」と毎日日替わりでお越し頂き敬老会に花を添えて下さいました。楽器の演奏から楽器の紹介もして下さり皆さん興味深く聞き入っておられ大きな拍手を送っていました。ご利用者様の皆さんの笑顔は職員の方になります。これからもますますお元気でゆうゆうの通所リハビリへお越しください。



デイケア・運動会

デイケアの運動会は10月8日～11日の4日間行われました。

紅白代表の利用者様に選手宣誓を行ってもらい、職員の応援団長の指揮で応援合戦後、いよいよ競技がスタート。ボール送りは、くじ引きで選択した道具を使い隣の方に玉を送る競争。選択した道具は、スプーン、お玉、素手、おちよこ、プリンカップでそれぞれに得点があり、早くボールが送れば勝ちではなく、選択した道具で得点が加算されて勝敗が左右ため、利用者様の落胆の表情等があり楽しく競技が行えました。

玉入れは、新調したかごでの初競技。決められた数のお手玉と玉を1分間で投げ入れお手玉がかごに入れば高得点。座ったままでの競技ですが、興奮のあまり立ち上がる利用者様もいて職員はひやひやしました。また、日替わりで職員の競技も取り入れ利用者様に応援してもらい、喜んで頂けました。パン食い競争は棒に吊るしたパンを自らの口で取ってもらい、お菓子釣り競争は手作りの水槽の中から好みのお菓子を釣り竿で釣り上げそれをおやつに食べていただきました。約1週間の運動会でしたが、利用者様も楽しんでご参加いただきました。

二階・敬老会

9月17日に敬老会を行いました。今年は長寿祝いの利用者様が計8名おられました。その方々に対して担当職員からのお祝いのメッセージを披露しました。また、全員にエコバックをお祝いの記念品としてお渡ししました。

そして、お祝いの演奏として『遙太鼓』の方々に来ていただき和太鼓の演奏を披露して頂きました。間近で太鼓の演奏に聞き惚れている利用者様や、感動して涙を流されている方もおられました。





二階・運動会

秋晴れの天気恵まれた10月16日に、2階のA・Bチーム合同運動会が行われました。チーム代表の利用者様が高らかに選手宣誓を行うと、全員参加で「玉入れ」を行いました。夢中になり終了の合図の後も諦めずに球を投げている方もいらっしゃいました。続いて選抜選手による「吹き矢での当て」です。的をめがけ高得点を狙います。練習のいかにもあり高得点が続出し、他の利用者様や職員から拍手喝采を浴び、良い表情をされていました。次は「パン食い競争」です。取れないと3時のおやつが無い為、大きな口を開けて時には手を使ったり職員に助けられながら全員確保できました。最後に職員による「仮装競争」。男性職員のウエディングドレス姿や事務長の女子高生姿に大笑いしながら楽しむ事ができました。



三階・敬老会



3階では、9月16日の敬老の日にあわせて会を催しました。今年の敬老会はご家族様にも参加いただいて、午前中のお茶の時間からお昼過ぎまで、ゆっくりと一緒に過ごしていただくことをメインに計画を立てました。当日さくら・すみれユニットでは、普段の入所者様のご様子をビデオで撮影したものを上映しながらお茶を飲んでいただきました。普段の面会時には見ていただくことのできないご様子をみていただき、ご家族様からは、「あれ、いい顔してるなあ」などの言葉をお聞きできました。スクリーンに映るご自分の姿をみて、びっくりしながらも少し嬉しそうに入所者様もいらっしゃいました。つづいて、長寿番付の発表と表彰を行いました。また、入所者様全員には、ご家族様からのメッセージを書いていただいたミニアルバムを、受け持ちからのメッセージを添えてプレゼントしました。昼食はご家族様と職員も一緒にいただきました。長寿番付横綱の男性入所者様にすばらしい挨拶をいただいたあと、全員で乾杯をしました。ゆったりとした時間を一緒に過ごしていただくことができました。

三階・運動会



10月10日3階Aチーム運動会が行われました。「たんぼぼチーム」と「ひまわりチーム」のユニット対抗で行いました。「ぬいぐるみ送り」では一列に並び隣の人へぬいぐるみを渡しました。「かわいいなくよしよし」とあやし、普段見られない笑顔も出ました。「ヒモ繋ぎ」では一本ずつヒモを引き、結んでどちらのチームが長いか競いました。短いヒモが出ると、「あく」と声が。結ぶ時も皆さん上手に結んでいました。「玉入れ」ではたくさん玉を抱えて「それ〜入れ〜！」とコントロール良くどんどん入って行きました。どちらのチームも日頃の練習の成果と団結力を発揮していました。皆さん笑顔いっぱい楽しい秋のひとつきを過ごしました。



3階敬老会



3階運動会

調理室便り



今回はメニュー開発係により考案された、新メニューを紹介いたします。

「魚とじゃが芋の甘露煮」(二人分)

材料

カジキ 60g (20g×3切)

生姜 3g

しょう油 3g

料理酒 4g

サラダ油 1g

じゃが芋 45g

砂糖 5g

しょう油 5g

きぬさや 適量

① カジキにおろし生姜、しょう油、酒を入れ

30分程度、味をしみ込ませます。

② じゃが芋は2cm程度の角切りにして、蒸し

器で蒸します。

③ カジキに片栗粉をまぶし、フライパンに油

を敷きコンガリと焼きます。

④ 鍋にしょう油と砂糖を入れて煮立たせ、タ

レを作ります。

⑤ ④の鍋に コンガリ焼けたカジキと蒸した

じゃが芋を入れザックリ混ぜ合わせます

⑥ 器に盛りキヌサヤなど、緑の野菜などあし

らいます。



簡単でとても美味しいお料理です

ゆうゆうの調理室では大量調理になりますのでフライパンは使用せずスチコンという機械で煮たり、焼いたり、蒸したりします。味が均一に入り温度、時間の管理が便利です。調理室では温かな美味しいお料理を心掛けております。

※スチコンはスチームコンベクションオーブンの略



栄養管理係
羽生智子

10月より栄養管理係へ勤務しております。ご利用者様に安心して美味しく召し上がって頂くという事は、とても責任がある仕事だと日々感じています。まだまだ勉強中ですが、チームの一員としてお役に立てるように努力していきたいと思っております。

感染症蔓延時の対応について

以前、当施設で夏風邪が徐々に蔓延し、のどの痛みや咳、発熱を伴わない風邪症状から感染して重い症状になるケースもありました。抵抗力が弱くなっている高齢者にとっては、感染力の強いインフルエンザやノロウイルス

だけでなく様々な感染症に注意が必要である事を痛感しました。蔓延する前に感染症の早期発見・早期対応が重要です。

ゆうゆうでは、利用者様に発熱もしくはせき等の風邪症状がみられた場合、利用者様の協力を得ながらマスクの装着・居室内でのカーテン隔離、同室の方や関わる職員も手洗いの強化とマスク使用にて対応しています。下痢や嘔吐等の症状もまずは居室での対応になり、ビニール手袋・エプロン・マスクで感染予防対策の手順に添って吐物・排泄物の処理を行います。体調を崩された利用者様は、医師の診察により必要な処置が行われます。利用者様と職員は接触感染(手から手へ) 飛沫感染(咳・くしゃみ)の感染源となる鼻汁・痰・排泄物・嘔吐物が広がりやすいようにするために前述の対応となります。日頃から手洗い・うがい・体調管理を心掛けましょう。

編集後記

師走に入り、紅葉もに終わりを迎えて、寒さを感じる季節となりました。

寒暖の差が大きくなるこの季節は、インフルエンザなどの感染症への感染が心配されます。

ご利用者の方やそのご家族の皆様方には、お身体を十分ご自愛いただき、良いお正月をお迎えいただけますよう、職員一同、心よりご祈念申し上げます。(良)

